

平成 25 年度

# 事業報告書

社会福祉法人 南 幌 苑  
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園  
共同生活援助・共同生活介護 ハイツ ひまわり

# 平成25年度 社会福祉法人南幌苑 本部事業報告書

## 1. 法人の事業運営

平成25年度における社会福祉法人南幌苑事業活動並びに関係各予算の執行については、事業計画に基づき実行に移され円滑かつ有意義に所期の目的を達成する事が出来た。

社会福祉法人南幌苑は、政権交代によりめまぐるしく変わる制度に対して、障がい者制度改革推進会議での議論の収集等を行いながら、法人の経営理念を基本に、各事業所を利用される方々のニーズに応え、「選ばれる質の高いサービス」の提供を目指し、経営のあり方を見直し、健全経営を維持するとともに法人事業の適正な経営に努めた。

昨年は、役員研修として、先駆的な経営を行っている社会福祉法人後志報恩会 銀山学園を視察し、新しい事業体系での施設経営について学んできた。また、社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体の開催する多くの研修に参加し、支援技術や知識の習得、情報の収集にも努めた。これらの研修で得た知識を共有するため、随時報告会を行った。

今後も、法人として地域住民やご利用者、ご家族から親しまれる地域に根付いた法人であることを目指し、確実な事業展開を行い、より一層良い環境づくりに努める。

### ・重点事業実施状況

#### 1) 役員研修

##### ○役員視察研修

平成25年 ○月 ○日～ ○日 役員 ○名 評議員 ○名  
北海道余市郡仁木町銀山2丁目134番地  
社会福祉法人 後志報恩会

##### ・銀山学園

定員	入所支援	130名
	生活介護	130名
	短期入所	7名

#### 2) 職員研修

##### ○施設内研修

- ・平成25年 月23日 講習会 「口腔ケアについて」  
講師 加藤歯科院長 加藤久尚氏
- ・平成25年7月31日 救急救命講習  
講師 南幌町消防署員2名 職員14名が受講した。
- ・平成25年10月26日 めぐみ会・めぐみ学園合同研修会  
講演「今までの福祉とこれからの福祉」  
講師 空知知的しょうがい福祉協会 会長 上坂隆一氏

##### ○施設外研修

北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会等に  
参加し、職員の資質向上に努めた。

#### 3) 規程等の改正

- ・運営規程
- ・経理規程

#### 4) 職員採用及び退職

##### ○採用

- ・平成 24 年 4 月 支援職員（正規）1 名、 事務職員（嘱託）1 名
- ・平成 24 年 6 月 支援職員（嘱託）1 名
- ・平成 24 年 9 月 栄養士（正規）1 名

○退 職

- ・平成 24 年 8 月 支援職員（嘱託）1 名、 栄養士（嘱託）1 名
- ・平成 25 年 3 月 支援職員（嘱託）1 名、 事務職員（正規）1 名（定年）

・実施事業

○障がい者支援施設南幌めぐみ学園

定員	施設入所支援事業	50名（現員50名）
	生活介護支援事業	60名（現員57名）
	就労継続支援B型	10名（現員 8名）

○短期入所事業（併設） 定員 5名

○共同生活援助・共同生活介護事業所 ハイツひまわり  
定員 5名

○日中一時支援事業 定員 5名

2. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施状況

平成 25 年度においては理事会 6 回、評議員会を 2 回開催し、監事による実施監査を 4 回受けた。また、7 月に空知総合振興局実地指導監査を受けた。

・理事会

開催年月日	会 議 内 容
平成 24 年 5 月 24 日	第 147 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 平成 23 年度法人及び施設事業の経過報告について 議案第 2 号 平成 23 年度社会福祉事業会計の決算について 議案第 3 号 嘱託職員の採用について 議案第 4 号 障がい者支援施設運営規程の一部改正と重度障害者支援加算(Ⅱ)の届出について 議案第 5 号 短期入所事業運営規程の一部改正について 2. 報告事項 1) 平成 23 年度第 4 回内部監査（決算）の結果報告について 3. その他 1) 次期理事会の開催日程について
6 月 29 日	第 148 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 南幌めぐみ学園職員の退職及び採用について 議案第 2 号 役職員視察研修について

開催年月日	会議内容
8月28日	<p>第149回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 指定共同生活援助・共同生活介護事業所運営規程の一部改正について</p> <p>議案第2号 指定障害福祉サービス事業に係る事業者指定の更新申請について</p> <p>議案第3号 障害者自立支援法に基づく業務管理体制に係る届出について</p> <p>議案第4号 職員採用について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 空知総合振興局による共同生活援助・共同生活介護ハイツひまわりの実地指導監査の結果報告について</p> <p>2) 役職員視察研修の報告について</p> <p>3) 平成24年度第1回内部監査(6月末)の結果報告について</p>
12月14日	<p>第150回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 職員採用について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成24年度第2回内部監査(9月末)の結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
平成25年 1月18日	<p>第151回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 社会福祉法人南幌苑経理規程の改正について</p> <p>2. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
3月27日	<p>第152回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 平成25年度法人及び施設事業計画(案)について</p> <p>議案第2号 平成25年度社会福祉事業収支予算(案)について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人南幌苑経理規程細則について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人南幌苑事業別運営規程の一部改正について</p> <p>議案第5号 南幌めぐみ学園外壁修繕工事について</p> <p>議案第6号 職員人事について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成24年度第3回(12月末)内部監査結果報告について</p>

・評議員会

開催年月日	会議内容
平成 24 年 5 月 24 日	第 26 回評議員会 1. 議事 議案第 1 号 平成 23 年度法人及び施設事業の経過報告について 議案第 2 号 平成 23 年度社会福祉事業会計の決算について 議案第 3 号 平成 23 年度第 4 回内部監査（決算）の結果報告について 2. その他 1) 次期評議員会の開催日程について
平成 25 年 3 月 27 日	第 27 回評議員会 1. 議事 議案第 1 号 平成 25 年度法人及び施設事業計画（案）について 議案第 2 号 平成 25 年度社会福祉事業収支予算（案）について 2. 報告事項 1) 平成 24 年度第 3 回（12 月末）内部監査結果報告について 3. その他 1) 次期評議員会の開催日程について

・監事監査

開催年月日	会議内容
平成 24 年 5 月 21 日	平成 23 年度第 4 回（決算）内部監査
7 月 30 日	平成 24 年度第 1 回内部監査（6 月末）
10 月 30 日	平成 24 年度第 2 回内部監査（9 月末）
平成 25 年 2 月 20 日	平成 24 年度第 3 回内部監査（12 月末）

3. 空知総合振興局による指導監査

- 1) 共同生活援助・共同生活介護 ハイツ ひまわり  
平成 24 年 7 月 26 日 担当者 保険指導係長 村上 達朗 氏  
主任 黒島 誠 氏

指摘事項なし

- 2) 障がい者支援施設 南幌めぐみ学園  
平成 25 年 1 月 15 日提出 書面審査  
指摘事項なし

# 平成25年度 南幌めぐみ学園事業報告

## I 概況

### 1. 運営概況

#### 1) 運営全般

施設サービスを新体系に移行し2年半がたち日中活動支援や施設入所支援が定着してきた。また就労生活支援センター「かよえ〜る」を日中活動支援の拠点ともなり、利用者の活動範囲を広げ職住分離の生活リズムを図ってきた。

行事関連においては、ご利用者やご家族・地域ボランティアの参加ご協力を得て、スポーツ大会・学園祭等の行事を実施した。

他に南幌町のイベントや空知施設協会の各種イベント・大会にも積極的に参加した。

めぐみ会との連携では、例年通り役員会・総会への総合施設長以下幹部職員・新人職員が出席した。又懇談会・研修会では札幌京王プラザホテルにて開催し（めぐみ会19名・職員7名参加）意見・情報交換をした。

また道外宿泊旅行は、東京・横浜方面へ行きめぐみ会から13名もの方の参加があり、さらには道内宿泊研修旅行として定山溪ホテルミリオーネへ、めぐみ会から28名が参加し、他の各行事への多数の参加などを通して相互に意見・情報交換することができた。

めぐみ会からは、ご利用者の生活環境整備支援へのご協力が例年通り行なわれた。

#### 2) ご利用者の動向

①入退所に関する移動はなし

②ご利用者の概況 ※ 資料「利用者の状況」参照

#### 3) 職員体制

平成25年度は、臨時支援員2名を採用し、日中活動支援及び地域生活支援体制の強化を進める職員配置を行なった。

## II ご利用者支援

### 1. 障がい者支援サービス

#### 1) 施設入所・通所支援

日中活動のあり方についてご利用者一人ひとりの生活ニーズやライフステージに合わせ、個別支援計画に基づいたきめ細かなサービスを提供してきた。

日中活動では「かよえ〜る」を拠点として活動の範囲を広げ、職住分離と毎日の生活リズムを定着させる事ができた。居室の利用では、年齢や障がいの程度・相性などによる住み分けや地域生活移行（グループホーム他）を目指しての生活支援に取り組んだ。ご利用者個々の支援については個別支援計画にそって定期的にモニタリングをおこない、その時々状況に合わせた支援を行った。

#### 2) 日中活動支援

生活介護支援事業は、高齢化・重度化の流れの中で自閉症・自閉傾向の障がいの重い人や情緒障がい（パニック等）・身体障がいとの重複者においては、リハビリ訓練や運

動量を確保するためのウォーキングを継続して行った。

生活訓練科は創作活動で和紙工芸や縫製品の制作に取り組み、南幌町内外のイベント、南幌温泉、福祉の店いこ〜る（札幌市）にて販売を行った。また教材会社の下請け作業などの軽作業を行ないながら、日常生活動作の訓練・支援（歯磨き・ひげそり・整容・洗濯・整理整頓等）の取り組みを個別に行った。

紙器加工科はパッケージ流通会社や食品会社の委託作業である箱折り・菓子詰め・ビニールパック箱詰めなどに取り組んできた。

農産科では畑作業（じゃがいも・ミニトマト・豆類・かぼちゃ等の栽培）や環境整備・豆の出荷作業・手芸などの軽作業に取り組み、福祉の店はクッキーなどの焼き菓子づくりとコーヒーの宅配サービスを行なった。

収穫した農産物や手作りクッキーを、セブンイレブンに出荷・販売している事も大きな励みとなっていた。

### 3) 就労継続支援

就労継続支援B型事業は、継続してセブンイレブンのごみ分別の委託作業に、女子3名がローテーションで取り組んだ。

以前からの長期実習では、さとう自動車整備工場に1名・スリービーに4名の計5名が自立生活を目指して継続して実習に取り組んだ。

それぞれに何らかに課題は残るものの「働くこと」を通して、厳しさを学び社会生活能力を養ってきた。

### 4) 余暇支援

余暇活動ではご利用者の年齢や身体状況・嗜好やニーズを十分考慮し、南幌町内のイベントや近隣の他施設の行事や催事などに積極的に参加出店した。

またスポーツ大会では保護者ご家族との交流だけでなく、地域の方々・ボランティアの方々との交流を深めた。

園内では、焼肉パーティー・餅つき・忘年会・新年会・節分などの季節の行事を行った。

道外宿泊旅行は東京・横浜方面へご利用者13名、ご家族13名、職員6名が参加し、さらに道内宿泊研修旅行は定山溪ホテルミリオーネに宿泊、ご利用者47名・ご家族28名・職員19名の94名が参加した。

スポーツ活動では、南幌町福祉スポーツ大会に参加し、ソフトボール・パークゴルフ・卓球等の種目で空知知的協会の大会に参加した。また札幌ドームでのティーボール大会に参加し、6年連続のプラカード大賞と応援大賞を受賞した。

### 5) 苦情解決

ご利用者からの苦情は常設の投書箱にて随時受け付けると共に、日常的にも個々のご利用者の訴えをよく聞き、その悩みや抱える問題点に関し職員が共通認識をもてるよう努めた。今年度は投書による苦情受付は無かった。

職員には「人権侵害ゼロへの誓い」署名を実施し、虐待防止や人権擁護について、研修会を開催したり、各種会議でも話をして周知徹底を図っている。

### 6) 保健衛生・医療

年2回の健康診断および毎月の身体測定・歯科訪問診療・皮膚科往診・女性は希望により乳がん子宮がん検診を行った。日常の健康管理に関しては主治医の北広島メンタルクリニック穴澤医師による問診のほか看護師が個別面談を行った。毎月の身体・血圧測

定のほか医師の指示等で定期的なバイタルの測定や排便確認等が必要な方は個々については記録表を作成した。高齢化や重度化などの要因からか通院数は増加している。

今年度もインフルエンザ予防接種を全員が受けた。

感染症予防対策委員会を開催し、園内の消毒・清掃さらに手洗いの励行など予防対策を強化し、毎日欠かさず実施した。ノロウイルス等の食中毒に備えて嘔吐物の緊急処理用具を園内2か所に設置した。職員を対象に嘔吐時の処理の手順を学ぶ講習会を実施した。毎月の生活懇談会でご利用者に医療の指導を行い、病気や健康への配慮を促した。

## 7) リスクマネジメント

ご利用者の事故については、無断外出があったがすぐ対応して早期の発見保護している。その後は職員の勤務時間を変更するなど見守りの強化を図っている。転倒・ご利用者同士のトラブルによるケガ・破損事故が見られている。転倒事故の要因としては年齢や歩行機能低下によるものである。ご利用者同士のトラブルについては、情緒障がいの行動上の特徴である他者への攻撃性に起因するものでありご家族や医師と相談の上対応している。破損事故については特定のご利用者に限られているが、その多くはストレスが要因となっていると思われ、人間関係・生活環境の整備を行っている。

(平成25年度の空知総合振興局・南幌町への事故報告は 6件)

## 8) 栄養管理・給食

毎年1回のご利用者嗜好調査(アンケート)のほか、月例の給食会議の中でご利用者・職員から給食に関する意見や要望を聞き、食事満足度の向上のために検食簿などを参考にしながら給食内容の改善に努めた。健康診断・身体計測の結果やご利用者の心身の状況に関する情報を看護師・支援員と共有し、エネルギーコントロール食や粥食などの特別食を適切に提供した。毎月の生活懇談会でご利用者に栄養指導を行い、誕生日膳や選択食、季節ごとの行事食も提供してきた。

## 9) 環境整備・防災

ご利用者の方々が日々快適で安全な生活を送ることが出来るように、修繕や草刈りなど居住環境及び周辺的生活環境の整備に努めた。本体の照明器具をLED電球に変更し環境にも配慮した。今後ふれあいも変更の予定である。

防災に関しては、「防災計画」に基づいて毎月1回の避難訓練とご利用者と共に行う防災点検を実施した。春5月と秋10月に南幌消防署員立ち会いで総合避難訓練を実施し、地震想定・夜間想定にも取り組んだ。

9月には救命救急講習を行い緊急時に備えた。

## 2. 対外業務

### 1) 福祉実習生及びボランティアの受け入れ

福祉の専門職として知識や経験を社会へ還元することを目的とし、大学や専門学校を中心に保育・福祉分野の実習生を積極的に受け入れ、次代を担う人材の育成に寄与した。

ボランティアに関しては、定期の訪問・学園行事等を通じて、地域のボランティア団体、音楽や文化のボランティアサークル、個人の学生ボランティア等の受け入れを継続して行ってきた。

○福祉実習生受け入れ 北海道介護福祉学校 5名  
南幌中学校職場体験 3名



○ボランティア受け入れ 延べ人数131名

2) 養護学校実習の受け入れ

学校関係者と連携し、養護学校中学部・高等養護学校の現場実習を受け入れた。

○現場実習生受け入れ 南幌養護学校中学部4名 南幌養護学校高等部2名

3) 広報活動

学園の広報誌「南幌めぐみ学園だより」は8月・1月の年2回発行し、町内の地域住民には新聞折り込みにて配布、町外のご利用者ご家族や関係機関にも郵送している。「学園の近況について」を保護者に発送し、学園の取り組み状況のお知らせを行った。

3. 管理業務関連

1) 職員研修

障害者総合支援法関係の研修会や行政説明に役職員を派遣し、情報収集に努めた。その他、職員の経験年数や職務内容を考慮し、北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会や支援の実践に関する研修に参加し、援助技術や知識の習得と情報の収集に努めた。

※資料「研修実績」参照

2) 年間行事

概ね例年通りの日程内容で行事を実施した。

※資料「施設事業実施経過」参照

Ⅲ その他の事業報告

1. 短期入所事業・日中一時支援事業

1) 概況

在宅の知的障がい児・者の地域生活を支えるサービスとして、短期入所事業と日中一時支援事業を継続して行った。

2) 利用状況

短期入所利用は他に2～3泊の定期利用が4名あった。

日中一時支援利用については児童の低年齢化・障がいの重度化などによりマンツーマン対応による支援を行ってきた。職員配置の面では厳しい状況もあったが社会的責任という視点から継続して受け入れてきた。

※資料「短期入所・日中一時支援利用状況表」参照

## 平成25年度 GHハイツひまわり 事業報告

プライバシーの尊重と自由時間の確保、ひとりひとりの生活リズムに合わせてながら、多様なニーズに対応していけるよう支援体制を整えてきていた。

また町内行事にも積極的に参加していた。

### ○家事への取り組み

週末（土・日）の食事は当番を決め、自分たちでメニューを考え調理している。

メニューのバリエーションも少しずつ増え、夏場には畑で収穫した野菜を使い食事の献立の中に取り入れた。

誕生日などは本人の好みのメニューを献立に取り入れてもらい、時々外食や宅配なども楽しんでいる。

### ○清掃

共同スペースの当番はみんなで話し合っ決めてスムーズに行うことが出来ていた。

世話人さんには、清掃の再確認と不十分なところを再度おこなってもらっている。

自室の清掃については、週に一度清掃日を設け、出来る部分は自分で清掃。清掃が苦手なご利用者は世話人と一緒に取り組み清潔を心がけた。

### ○対人関係

お互いを知り、慣れてくることによって他者への不満や指摘事は多くなってくるものであり、職員がいる時といない時で態度が異なる場面は時々見られていた。

親しくなってきたゆえに甘えやわがままもでてきており、互いの性質や性格を理解していけるよう働きかけつつ、みんなの意見を聞いたり話し合いの機会を設けている。

また時々職員同行のもと、買い物・カラオケ・ボーリングなどで気分転換を図り、親睦を深めた。

### ○地域活動への参加と関わり

隣人の方々と挨拶を交わしたり、町内会の花壇整備などの活動には積極的に参加していた。また、地域の方々と顔を会わせることも楽しみの一つになってきている。

冬の除雪時期は声を掛け合いながら取り組んでいた。

### ○健康管理

Aさん 風邪を引きやすい傾向であるが、今年度は大きく体調を崩すことはなかった。

Bさん 高血圧による食事・体重増加には注意しており軽い運動を継続支援していく。また、血圧は安定してきているが、体重の増加には注意している。

Cさん 時々倦怠感、体調不良からの仕事を休むことが少なくなっている。部屋掃除を週に一度、世話人と共に行うことが習慣化されてきている。今後も世話人等の協力のもと清掃を行っていく。

Dさん 体調的には、変化はなく元気である。精神面の乱れもなく穏やかに生活している。

Eさん 飲食について執着があるので、病気等について繰り返し話をしていく必要がある。また、小遣いの使用については、収入に合った使い方を理解していただくよう支援が必要。

### 1. 職員体制

管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名（兼務）  
世話人 2名（専任） 生活支援員 3名（兼務）  
※ その他、バックアップ施設職員にて、随時支援を行った。

### 2. バックアップ施設

障がい者支援施設南幌めぐみ学園

### 3. 利用者（定員5名）

平成25年3月31日

氏名	市町村	性別	年齢	区分
Aさん	岩見沢市	女	47歳	3
Bさん	江別市	女	60歳	2
Cさん	長沼町	女	39歳	2
Dさん	当麻町	女	45歳	3
Eさん	小樽市	女	44歳	3

### 4. 行事实施状況

開催年月日	主たる事業の内容
平成25年	
4月 12日	定期健康診断 めぐみ学園にて
5月 19日	北町町内会 花壇種まき 3名参加
6月 11日	焼き肉パーティ めぐみ学園にて
23日	避難訓練
7月 7日	めぐみ学園スポーツ大会 5名参加
21日	空知施設対抗ソフトボール大会（南幌町） 1名参加
8月 25日	北町町内会 運動会 5名参加
9月 7日	北町町内会 花壇草取り 3名参加
8日	空知知的しょうがい福祉協会パークゴルフ大会（美唄市） 1名参加
11日	定期健康診断 めぐみ学園にて
13～14日	道内宿泊研修旅行（定山溪方面） 5名参加
22日	避難訓練
10月 6日	めぐみ学園 学園祭 5名参加
11月 3日	空知知的しょうがい福祉協会事業所対抗卓球大会（月形町） 1名参加

開催年月日	主たる事業の内容
12月 7日	ティーボール北の甲子園大会（札幌ドーム）5名参加
20日	忘年会 めぐみ学園にて 5名参加
21日	避難訓練
平成26年 21日	北町町内会 総会 5名参加
1月 17日	新年会 めぐみ学園にて 5名参加

## 資 料

1. 事業実施経過
2. 職員の配置
3. 職員研修実績
4. 利用者の状況
  - (1) 月別在籍者状況
  - (2) 入退所者状況
  - (3) 利用者年齢調
  - (4) 利用期間調
  - (5) 利用者出身市町村調
  - (6) 障害状況
  - (7) 面会状況
  - (8) 外出状況
  - (9) 外泊状況
5. 短期入所・日中一時支援
  - (1) 短期入所利用状況
  - (2) 日中一時支援利用状況
  - (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

## 1. 事業実施経過

開催年月日	主たる事業の内容
平成 25 年	
4 月 1 日	開園記念日
12 日	第 1 回健康診断 利用者・職員
18 日	北海道知的障がい福祉協会 入所支援部会 札幌市 職員 1 名
24 日	空知知的しょうがい福祉協会 理事会・総会
29 日	めぐみ会総会 23 名
30 日	環境整備 施設外・道路清掃
5 月 2 日	日帰り社会学習 北海道グリーンランド 岩見沢市 利用者 38 名 職員 16 名
9 日	南幌町地域保健医療福祉総合対策協議会 職員 1 名
9～11 日	道外宿泊研修旅行 東京・横浜方面 利用者 13 名 家族 13 名 職員 6 名
14 日	安全運転管理者講習 栗山町 職員 1 名
14 日	北海道ソーシャルワーカー協会 札幌市 職員 4 名
14～15 日	北海道社会福祉協議会 新人職員マナー研修 札幌市 職員 1 名
15～16 日	北海道知的障がい福祉協会 全道施設長セミナー 札幌市 職員 1 名
23 日	衛生推進者構成講習会 札幌市 職員 1 名
6 月 4～6 日	全国施設長会議 東京都 職員 1 名
11 日	焼肉パーティー
13 日	空知知的障がい福祉協会 理事会・職員研修会 月形町 職員 4 名
14 日	北海道民間社会福祉事業職員協会会 札幌市 職員 1 名
14 日	空知知的しょうがい福祉協会 権利擁護委員会 深川市 職員 1 名

開催年月日	主たる事業の内容
平成 25 年	
6 月	18 日 岩見沢社会保険委員会 定期総会 岩見沢市 職員 1 名
	22～23 日 福祉有償運送講習会 札幌市 職員 1 名
	24 日 南幌高等養護学校 社会生活実習 1 名（～ 7 / 5 迄）
	28 日 北海道介護学校 現場実習 5 名（～ 7 / 5 迄）
	30 日 空知の風 地域交流祭 岩見沢市 職員 1 名
7 月	8 日 第 26 回南幌めぐみ学園スポーツ大会 250 名
	8 日 南幌高等養護学校 社会生活実習 1 名（～ 7 / 1 9 迄）
	9～10 日 全国福祉施設士セミナー 東京都 職員 1 名
	12 日 社会福祉法人経営者セミナー 札幌市 職員 1 名
	15 日 野球観戦 札幌ドーム 利用者 4 名 職員 1 名
	18 日 北海道民間社会福祉事業職員共済会 業務説明会 札幌市 職員 1 名
	20 日 空知知的しょうがい福祉協会 利用者交流会 深川市 職員 1 名
	21 日 空知施設対抗ソフトボール大会 南幌大会 利用者 9 名 職員 13 名
	24 日 南空知てんかんフォーラム 岩見沢市 職員 1 名
	29 日 空知知的しょうがい福祉協会 権利擁護委員会 岩見沢市 職員 1 名
	30 日 障害福祉担当者連絡会議 南幌町 職員 1 名
8 月	6 日 第 6 区区民の集い めぐみ学園体育館
	20 日 南幌町福祉スポーツ大会
	21 日 空知管内特定給食施設等従事者研修会 岩見沢市 職員 1 名
	29 日 北海道社会福祉協議会 新任施設相談員研修 札幌市 職員 1 名

開催年月日	主たる事業の内容
平成 25 年	
8 月 31 日	全道施設職員野球大会 帯広市 職員 1 名 (～ 9 / 1 まで)
9 月 2 日	空知権利擁護委員会 岩見沢市 職員 1 名
6 日	救急救命講習会 勤務職員・利用者 南幌消防署員 2 名
8 日	空知パークゴルフ大会 美唄市 利用者 15 名 職員 6 名
11 日	利用者・職員 健康診断
13～14 日	道内宿泊研修旅行 札幌・小樽方面 定山溪ホテルミリオーネ 利用者 47 名 家族 28 名 職員 19 名 計 94 名
15 日	雪の聖母園祭 月形町 利用者 1 名 職員 3 名
17～20 日	南幌養護学校中等部実習 生徒 4 名 引率教諭 3 名
18 日	空知権利擁護委員会 深川市 職員 1 名
19 日	岩見沢市社会保険委員会 創立 50 周年 岩見沢市 職員 1 名
19～20 日	空知知的しょうがい福祉協会新任研修 滝川市 職員 3 名
20 日	北海道知的障がい福祉協会 施設入所支援部会会議 札幌市 職員 1 名
25～26 日	施設長実学講座 東京都 職員 1 名
28 日	南幌町町歌を歌う合唱の会 訪問 17 名
28～29 日	全国知的障がい福祉協会 物産展 札幌市 職員 2 名
10 月 1～3 日	南幌中学校 職場体験学習 生徒 3 名
6 日	第 26 回南幌めぐみ学園祭
9 日	総合避難訓練 南幌消防署員 2 名
12 日	空知のチカラ出店 砂川市 利用者 2 名 職員 3 名



開催年月日	主たる事業の内容
平成 25 年	
10 月	
13 日	ボランティアフェスタなんぼろ出店 利用者 2 名 職員 2 名
15～16 日	全道知的障がい関係職員研究大会 札幌市 職員 1 名
16 日	施設内研修会 虐待防止勉強会 職員 5 名
17 日	施設内研修会 虐待防止勉強会 職員 5 名
19 日	札幌社会福祉フォーラム 2013 札幌市 職員 1 名
19 日	保護者職員合同研修会 千歳市 職員 1 名
20 日	施設内研修会 虐待防止勉強会 職員 3 名
21 日	施設内研修会 虐待防止勉強会 職員 5 名
22 日	施設内研修会 虐待防止勉強会 職員 5 名
22～23 日	全国知的施設家族連合会 札幌市 家族 4 名 職員 1 名
24 日	施設内研修会 虐待防止勉強会 職員 5 名
25 日	施設・めぐみ会合同研修会 札幌市 講師 2 名 職員 7 名 めぐみ会 19 名
28～29 日	北海道知的障がい関係支援員研修 I 夕張市 職員 2 名
30 日	南空知圏域感染症予防研修会 岩見沢市 職員 4 名
11 月	
2 日	空知知的障がい福祉協会 栄養士・調理員従事者研修会 美唄市 職員 1 名
3 日	空知知的障がい福祉協会施設対抗卓球大会 月形町 利用者 6 名 職員 6 名
5 日	ボラ連講演会 これまでの福祉とこれからの福祉 由仁町 職員 1 名
8 日	家族連合会研修 岩見沢市 職員 1 名

開催年月日	主たる事業の内容
平成 25 年	
11 月	8 日 インフルエンザ予防接種 利用者・職員
	9 日 南幌養護学校祭 利用者 2 名 職員 2 名
	12 日 南幌町要保護児童対策地域協議会 職員 1 名
	12～13 日 北海道福祉施設士会 ブロック研修会 札幌市 職員 1 名
	12～13 日 北海道社会福祉協議会施設相談員専門研修 B 札幌市 職員 1 名
	14 日 高次脳機能障害講演会 岩見沢市 職員 2 名
	15 日 インフルエンザ予防接種 利用者・職員
	17 日 はあとキラキラマーケット i n なんぼろ 利用者 1 名 職員 2 名
	20 日 施設内研修会 感染症対策実践勉強会 職員 10 名
	22 日 施設内研修会 感染症対策実践勉強会 職員 10 名
	25～26 日 北海道民間社会福祉事業職員共済会 実務研修 札幌市 職員 1 名
	27 日 北海道社会福祉協議会 社会福祉法人管理運営セミナー 札幌市 職員 1 名
	29 日 北海道知的障がい福祉協会 医療・栄養支援セミナー 札幌市 職員 2 名
	12 月 2 日 北海道知的障がい福祉協会 権利擁護セミナー 札幌市 職員 4 名
	3 日 労災防止セミナー 札幌市 職員 1 名
	4 日 北海道社会福祉協議会 法人役員研修 札幌市 職員 1 名
	7 日 北の甲子園ティーボール大会 札幌ドーム 札幌市 利用者 24 名 家族 13 名 職員 11 名

開催年月日	主たる事業の内容
平成 25 年	
12 月 12～13 日	虐待防止権利擁護研修会 札幌市 職員 1 名
12 日	北海道社会福祉協議会 施設運営専門講座 札幌市 職員 1 名
13 日	空知知的障がい福祉協会 職員研修会 月形町 職員 1 名
14 日	もちつき
18～19 日	日本施設士 施設長実学講座 東京都 職員 1 名
20 日	忘年会
平成 26 年	
1 月 9 日	南幌町新年交礼会
14～15 日	北海道知的障がい福祉協会 支援員研修Ⅱ 札幌市 職員 1 名
15 日	北海道社会福祉協議会 施設長専門研修A 札幌市 職員 1 名
17 日	新年会
22～23 日	北海道知的障がい福祉協会 幹部職員研修会 札幌市 職員 2 名
28 日	安全運転管理者研修会 栗山町 職員 1 名
28 日	厄払い
29～31 日	障がい者支援施設部会全国大会 福岡県 職員 1 名
2 月 3 日	節分
8 日	権利擁護委員会 美唄市 職員 1 名

開催年月日	主たる事業の内容
<p>平成 26 年</p> <p>2 月 14 日</p> <p>17 日</p> <p>19 日</p> <p>20 日</p> <p>26～28 日</p> <p>3 月 4 日</p> <p>5～7 日</p> <p>12～13 日</p> <p>13 日</p>	<p>権利擁護委員会 新十津川町 職員 1 名</p> <p>北海道社会福祉法人経営者協議会 総会・実務セミナー 札幌市 職員 1 名</p> <p>北海道知的障がい福祉協会 災害対策委員会 三役会議 札幌市 職員 1 名</p> <p>北海道知的障がい福祉協会 理事会 札幌市 職員 1 名</p> <p>全国社会就労センター長研修会 仙台市 職員 3 名</p> <p>北海道知的障がい福祉協会 臨時総会 札幌市 職員 1 名</p> <p>日本知的障がい福祉協会 部会協議会・支援スタッフ委員会代表者 会議 東京都 職員 1 名</p> <p>空知知的障がい者福祉協会 宿泊幹事会 滝川市 職員 2 名</p> <p>北海道社会就労センター協議会 総会・研修会 札幌市 職員 1 名</p>
<p>毎 月</p> <p>実施事業</p>	<p>生活懇談会 買物実習 調理実習 身体測定 血圧測定</p> <p>北広島メンタルクリニック医師問診</p> <p>歯科ブラッシング指導 職員会議 支援員会議 給食会議</p> <p>避難訓練 防災点検 お花指導 茶道指導</p> <p>各種スポーツ指導 日赤奉仕団・ボランティアとの交流</p>

## 2. 職員の配置

平成 26 年 3 月 31 日

職名	常勤職員	非常勤職員	計
施設長	1		1
事務員	3		3
サービス管理責任者	2		2
支援員	20		20
看護師	1		1
栄養士	1		1
医師		1	1
計	28	1	29

## 3. 職員研修実績

日程	研修名	場所	参加人数
平成 25 年 4 月 24 日	北海道知的障がい福祉協会 理事会、研修会	札幌市	1 人
5 月 14～16 日	北海道知的障がい福祉協会 施設長研修 北海道ソーシャルワーカー協会研修	札幌市	1 人
14～15 日	北海道社会福祉協議会 新任職員研修会	札幌市	1 人
14 日	安全運転管理者講習	栗山町	1 人
23 日	衛生推進者養成講習会	札幌市	1 人
6 月 3～6 日	日本知的障がい福祉協会 全国施設長会議	東京都	1 人
13 日	空知知的しょうがい福祉協会 総会・研修会	月形町	4 人
7 月 9～10 日	全国施設士セミナー	東京都	1 人

日	程	研 修 名	場 所	参加人数
平成 25 年				
7 月	12 日	北海道経営者協議会 社会福祉法人経営者セミナー	札幌市	1 人
	24 日	南空知てんかんフォーラム	岩見沢市	1 人
8 月	19 日	社会福祉法人ブロック研修会	札幌市	1 人
	21 日	特定給食施設等従事者研修会	岩見沢市	1 人
	24～25 日	空知知的障がい福祉協会 保健医療従事者研修会	月形町	1 人
	27 日	グループホーム・ケアホーム研修	札幌市	2 人
	29～30 日	北海道社会福祉協議会 新任施設相談員研修	札幌市	1 人
9 月	6 日	施設内研修 救急救命講習会 講師 南空知消防 南幌消防署員	学園体育館	勤務職員
	19～20 日	空知知的障がい福祉協会 新任職員研修会	滝川市	3 人
	25～26 日	日本福祉施設士会 施設長実学講座	東京都	1 人
	28～29 日	日本知的障がい福祉協会 全国生産活動・就労支援部会職員研修会	札幌市	2 人
10 月	10～12 日	役職員視察研修 社会福祉法人 青葉仁会	奈良県	7 人
	15～16 日	北海道知的障がい福祉協会 全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1 人
	19 日	福祉を創るフォーラム	札幌市	1 人
	22～23 日	全国知的施設家族連合会 研修会	札幌市	1 人
	25 日	施設内研修 めぐみ会職員合同研修会	札幌市	1 人
	29～30 日	北海道知的障がい福祉協会 支援員研修 I	夕張市	2 人
	30 日	南空知感染症予防研修会	岩見沢市	3 人
11 月	2 日	空知指摘障がい福祉協会 栄養士調理員研修会	美唄市	1 人
	8 日	空知家族連合会研修会	岩見沢市	1 人

日 程	研 修 名	場 所	参加人数
平成 25 年			
11 月 12 日	虐待・差別のない社会を目指して	札幌市	1 人
12～13 日	北海道福祉施設士会ブロック研修会	札幌市	1 人
12～13 日	北海道社会福祉協議会 相談員専門研修B	札幌市	1 人
14 日	高次脳機能障害講演会	岩見沢市	1 人
20～22 日	施設内研修 感染症対策実践勉強会	学園体育館	勤務職員
25～26 日	北海道民間職員共済会 実務研修会	札幌市	1 人
26 日	北海道社会福祉協議会 社会福祉法人管理運営セミナー	札幌市	1 人
29 日	北海道知的障がい福祉協会 医療・栄養支援セミナー	札幌市	2 人
12 月 2 日	北海道知的障がい福祉協会 権利擁護セミナー	札幌市	4 人
3 日	中央労働災害防止協会 労災防止セミナー	札幌市	1 人
4 日	北海道社会福祉協議会 法人役員専門研修	札幌市	1 人
12 日	北海道社会福祉協議会 施設運営専門講座	札幌市	1 人
12 日	空知知的障がい福祉協会 職員研修会	月形町	1 人
13 日	北海道保健福祉部 虐待防止権利擁護研修会	札幌市	1 人
18～19 日	日本施設士会 施設長実学講座	東京都	1 人

日 程	研 修 名	場 所	参加人数
平成 26 年 1 月 14～15 日	北海道知的障がい福祉協会 支援員研修会Ⅱ	札幌市	1 人
15 日	北海道社会福祉協議会 施設長専門研修 A	札幌市	1 人
22～23 日	北海道知的障がい福祉協会 幹部職員研修会	札幌市	1 人
30～31 日	日本知的障がい福祉協会 全国障がい者支援部会研修会	福岡県	1 人
2 月 17 日	北海道社会福祉施設経営協会 研修会	札幌市	1 人
27～28 日	全国社会就労センター協議会 全国社会就労センター長研修会	仙台市	3 人
3 月 5～7 日	日本知的障がい福祉協会 施設入所委員会研修	東京都	1 人
12～13 日	空知知的障がい福祉協会 宿泊幹事会	滝川市	2 人
13 日	北海道セルフ協会 セルフ協施設長研修	札幌市	1 人
21～22 日	施設内研修 利用者への虐待防止及び権利擁護 について	札幌市	1 人



#### 4. 利用者の状況

##### (1) 月別在籍者状況

区分	月別	25年										26年			合計 (人)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
初日 在籍者	入所	50	50	50	50	50	50	49	50	50	50	50	50	600	
	通所	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	
入所者	入所														
	通所	1												1	
退所者	入所														
	通所														

##### (2) 入退所者状況

新規入所者数	退 所 者 数							合計 (人)
	社 会 復 帰	帰 宅	長 期 入 院	施 設 替 え	死 亡	その他		
入 所								
通 所 1								

### (3) 利用者年齢調

平成26年3月31日現在

年齢区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
15歳～19歳				1		1
20歳～24歳	1		1			
25歳～29歳	2	3	5	2	2	4
30歳～34歳	2		2	2		2
35歳～39歳	2		2		1	1
40歳～44歳	13	10	23		1	1
45歳～49歳	3	3	6	1	3	4
50歳～54歳		1	1	1		1
55歳～59歳		3	3		1	1
60歳以上	4	3	7			
計	27	23	50	7	8	15

入 所                      通 所

最小年齢 入所                      通所

男 23歳10ヶ月・19歳1ヶ月

女 26歳6ヶ月・26歳4ヶ月

最高年齢

男 78歳4ヶ月・53歳5ヶ月

女 66歳7ヶ月・60歳7ヶ月

平均年齢

男 44歳3ヶ月・34歳8ヶ月

女 46歳6ヶ月・41歳7ヶ月

男女平均年齢

45歳4ヶ月・39歳2ヶ月

### (4) 利用期間調

平成26年3月31日現在

期間区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
1年未満				1		1
1年～2年未満						
2年～3年未満	2		2		1	1
3年～4年未満						
4年～5年未満						
5年～10年未満	3	4	7	1	5	6
10年以上	22	19	41	5	2	7
合 計	27	23	50	7	8	15
平均利用期間	20年11ヶ月	22年7ヶ月	21年6ヶ月	7年9ヶ月	8年2ヶ月	6年0ヶ月
最高利用期間	26年0ヶ月	26年0ヶ月		10年11ヶ月	10年11ヶ月	

## (5) 利用者出身市町村調

平成 26 年 3 月 31 日現在

市 町 村	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
札幌市 東区	1	1	2			
札幌市中央区		1	1			
札幌市厚別区	1		1			
札幌市 北区	1		1			
札幌市白石区		1	1			
札幌市清田区	1		1			
札幌市豊平区	1		1			
北 広 島 市	4	4	8			
江 別 市	3	4	7	2	1	3
小 樽 市		2	2		1	1
夕 張 市		1	1			
網 走 市		1	1			
北 見 市	1	1	2			
岩 見 沢 市	1	1	2		2	2
南 幌 町	7	1	8	4	2	6
栗 山 町		2	2	1		1
長 沼 町	1		1		1	1
新 篠 津 村	1		1			
妹 背 牛 町	1		1			
愛 別 町	1		1			
岩 内 町	1		1			
余 市 町		1	1			
苫 前 町	1		1			
釧 路 町		1	1			
平 取 町		1	1			
当 麻 町					1	1
計	27	23	50	7	8	15

(6) 障害状況調

平成26年3月31日現在

☆疾患状況

障害疾患名	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
聴力障害	1		1			
視力障害		1	1			
四肢・体幹機能障害	2	3	5	1	1	2
言語障害	4	3	7			
てんかん	6	7	13	3	4	7
精神科疾患・統合失調症	5	8	13			
高血圧	2	1	3	1	1	2
低血圧						
糖尿病	2		2	1		1
骨疾患		3	3			
腎臓疾患				1		1
肝臓疾患	3	1	4			
心臓疾患						
甲状腺疾患		2	2			
アトピー性皮膚炎		1	1			
パーキンソン症候群						
自閉症（傾向）	11	5	16	7	6	13

☆知能指数

知能指数(程度)	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
測定不能(全介助を必要)		1	1			
I Q 3 5 以下(常時介助を必要)	16	12	28	1	1	2
I Q 3 6 ~ 4 9 (介助指導を必要)	7	9	16		2	2
I Q 5 0 以上(一部介助指導必要)	1	1	2	3	3	6
未測定(未確認を含む)	3		3	3	2	5
計	27	23	50	7	8	15

(7) 面 会 状 況

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	1 人	1 人	2 人
4 回	人	人	人
3 回	2 人	人	2 人
2 回	人	1 人	1 人
1 回	2 人	3 人	5 人
面 会 な し	2 2 人	1 8 人	4 0 人
計	2 7 人	2 3 人	5 0 人

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	人	1 人	1 人
4 回	人	人	人
3 回	人	人	人
2 回	人	人	人
1 回	人	2 人	2 人
面 会 な し	人	2 人	2 人
計	人	5 人	5 人

(8) 外出状況

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	1人	人	1人
20～29回	人	1人	人
10～19回	1人	3人	4人
5～9回	2人	6人	8人
1～4回	23人	13人	36人
なし	人	人	人
計	27人	23人	50人

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	人	1人	1人
20～29回	人	人	人
10～19回	人	3人	3人
5～9回	人	人	人
1～4回	人	1人	1人
なし	人	人	人
計	人	5人	5人

### (9) 外泊状況調

#### ☆ 外泊回数

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	3 人	2 人	5 人
20 ~ 29 回	2 人	人	2 人
10 ~ 19 回	6 人	6 人	12 人
5 ~ 9 回	6 人	4 人	10 人
1 ~ 4 回	6 人	6 人	12 人
な し	4 人	5 人	9 人
計	27 人	23 人	50 人

※ 最高外泊回数 46回

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	人	人	人
20 ~ 29 回	人	1 人	1 人
10 ~ 19 回	人	人	人
5 ~ 9 回	人	1 人	1 人
1 ~ 4 回	人	2 人	2 人
な し	人	1 人	1 人
計	人	5 人	5 人

※ 最高外泊回数 20回

☆ 外 泊 期 間

南幌めぐみ学園

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	4 人	4 人	8 人
3 1 日 ~ 4 0 日	2 人	5 人	7 人
2 1 日 ~ 3 0 日	8 人	3 人	1 1 人
1 1 日 ~ 2 0 日	3 人	3 人	6 人
1 日 ~ 1 0 日	6 人	6 人	1 2 人
な し	4 人	2 人	6 人
計	2 7 人	2 3 人	5 0 人

※ 合計宿泊数 940日 中日日数 746日

ハイツひまわり

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	4 人	4 人	8 人
3 1 日 ~ 4 0 日	2 人	5 人	7 人
2 1 日 ~ 3 0 日	8 人	3 人	1 1 人
1 1 日 ~ 2 0 日	3 人	3 人	6 人
1 日 ~ 1 0 日	6 人	6 人	1 2 人
な し	4 人	2 人	6 人
計	2 7 人	2 3 人	5 0 人

☆ 入院による外泊

南幌めぐみ学園

	A (男)	B (女)	C ( )	D ( )	計
入院回数	3 回	1 回	回	回	4 回
入院日数	6 0 日	6 日	日	日	6 6 日
主 病	腸腰筋膿瘍	精神科 服薬調整			

ハイツひまわり  
入院者 なし



## 5. 短期入所・日中一時支援

### (1) 短期入所利用状況

	25年										26年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	4 (5)	6 (4)	6 (4)	5 (6)	4 (5)	4 (4)	5 (3)	9 (6)	6 (5)	3 (4)	5 (4)	6 (5)	13 (7)	
延日数	20 (34)	42 (41)	34 (35)	31 (42)	30 (41)	26 (33)	39 (27)	36 (22)	28 (26)	15 (25)	21 (23)	29 (24)	351 (373)	

※ 下段 ( ) は昨年度実績

### (2) 日中一時支援利用状況

	25年										26年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	9 (11)	9 (12)	8 (10)	10 (11)	7 (12)	8 (9)	7 (10)	7 (7)	5 (7)	4 (5)	4 (5)	7 (7)	12 (15)	
延日数	48 (44)	45 (47)	48 (49)	45 (43)	52 (40)	44 (46)	45 (35)	34 (42)	29 (36)	37 (36)	26 (31)	40 (37)	493 (486)	

※ 下段 ( ) は昨年度実績

### (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

区 分	市 町 村					合 計
	岩見沢	江別市	南幌町	栗山町		
短期入所	4 (2)	5 (4)	2 (1)	1 (0)		12 (7)
日中一時支援	2 (4)	6 (9)	1 (1)	0 (1)		9 (15)
実 人 員	6 (6)	11 (13)	3 (2)	1 (1)		21 (22)

※ 下段 ( ) は昨年度実績